



BVF37□□H・BVF38□□F(□□は回線数)

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に作業してください。
- 取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず作業された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意 ■必ずお守りください

警告

	絶対に分解したり、修理・改造しない。 感電の原因となります。
	電池は必ず接続する。 電池が接続されていないと停電時に機能しません。 試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。 戻さないと火災時、正常な火災警報動作をしません。
	保守・点検以外で受信機の地区音響を「強制停止」状態にしない。 (スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅状態) 火災時に警報が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。
	ぬれた手で受信機をさわったり、水をついたり、水をかけない。 感電・故障の原因となります。
	感知器は絶対に取りはずさない。 出火時に火災発見ができません。
	電池は火に投入したり、ショートさせない。 爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。
	防火戸・シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かない。 火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。

注意

	点検などで動作させる場合は、運動している設備の内容を十分確認して操作する。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
	点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。 引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

交流電源スイッチを「入(ON)」側にするときのご注意

非常放送連動・移信連動・消火栓連動・防排煙連動は、すべて停止解除(連動可能)状態でご使用ください。接続されている機器が連動しないように注意してください。

交流電源スイッチを「切(OFF)」側にするときのご注意

受信機の電源を切る場合は、電池接続コネクタを抜いた後、約10秒以上待つから、交流電源(AC100V)スイッチを「切(OFF)」側にしてください。約10秒待たずに受信機の交流電源を「切(OFF)」側にした場合は、発報/操作履歴データが記憶できない場合があります。

受信機音響の強制停止のしかた

- 点検時、受信機から主音響・トラブル音響・諸警報音響を鳴動させない場合に設定します。
- 受信機の音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「受信機音響停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)(地区音響強制停止時の約1分ごとのビープ音のような音は鳴りません。)

解除する場合

- 「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「受信機音響停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)

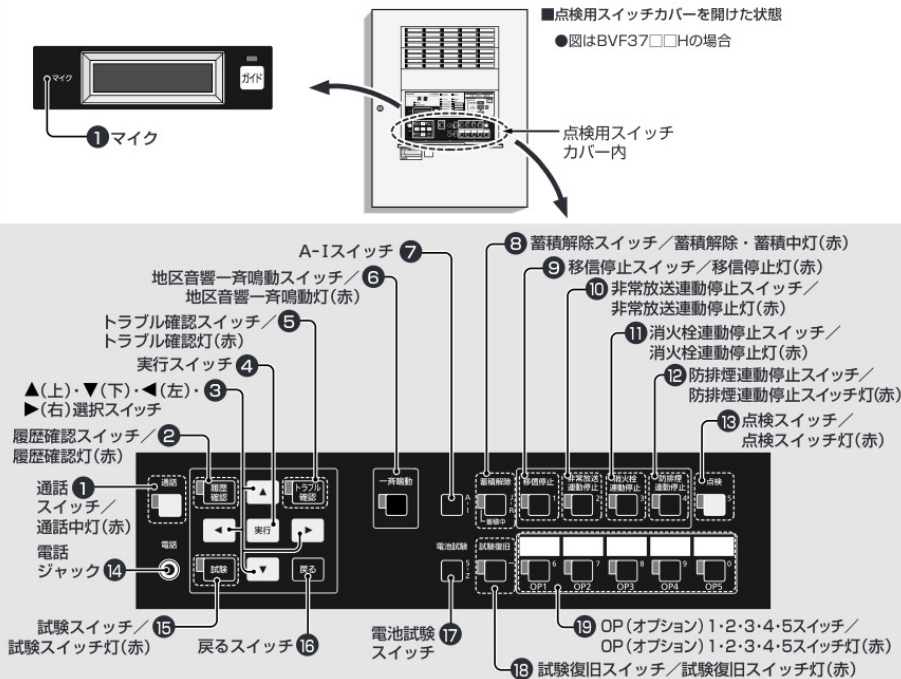
地区音響の強制停止のしかた

- 点検時、地区音響を鳴動させない場合に設定します。
- 地区音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「ベル(地区音響)一時停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)(BL+・Bn-BC(DC24V出力)が出力しません。)
- 約1分間隔でビープ音が鳴ります。

解除する場合

- 「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)

各部のなまえとはたらき



1 通話スイッチ / 通話中灯(赤) / マイク

電話機(別売)を使わずに発信機または副受信機の電話機(付属)と通話をするときに使用します。
〔電話機(付属)の使い方〕を参照

2 履歴確認スイッチ / 履歴確認灯(赤)

履歴確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部に履歴メニューを表示し、履歴確認灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、履歴確認灯とスイッチ注意灯が消灯します。

3 ▲(上)・▼(下)・◀(左)・▶(右) 選択スイッチ

表示画面内容を切り替えるとき、または火災試験時、防排煙個別制御時の回線選択時に使用します。

4 実行スイッチ

表示画面内容を実行するとき使用します。

5 トラブル確認スイッチ / トラブル確認灯(赤)

トラブル確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部にトラブル内容を表示し、トラブル確認灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、トラブル確認灯とスイッチ注意灯が消灯します。

6 地区音響一斉鳴動スイッチ / 地区音響一斉鳴動灯(赤)

地区音響装置(BL+・Bn-BC)が一斉鳴動出力を行います。
(地区音響一斉鳴動灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、出力が復旧します。
(地区音響一斉鳴動灯 / スwitch注意灯……………消灯)

7 A-Iスイッチ

使用しません。
(ソフト設定時のみ使用します。)

8 蓄積解除スイッチ / 蓄積解除・蓄積中灯(赤)

火災信号による蓄積動作中に点灯します。押すと蓄積機能が解除されます。
(蓄積解除・蓄積中灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、蓄積機能が有効になります。
(蓄積解除・蓄積中灯 / スwitch注意灯……………消灯)

9 移信停止スイッチ / 移信停止灯(赤)

●押すと代表移信接点(Fa1・Fb1〜Fc1, Fa2・Fb2〜Fc2, Fa3〜Fc3, Fa4・Fb4〜Fc4, Fa5〜Fc5)の出力が「停止」状態となり火災信号が入っても誘導灯などは動作しません。(移信停止灯 / スwitch注意灯……………点滅)もう一度押すと、停止解除になります。(移信停止灯 / スwitch注意灯……………消灯)
●回線別移信(In-1C)の出力については、設定マニュアル(回線別移信停止設定)を参照してください。

10 非常放送連動停止スイッチ / 非常放送連動停止灯(赤)

押すと感知器が動作しても接続された非常放送設備は連動しません。非常放送設備への無電圧接点(EA1…EA_n, EF-EC)の信号出力が「停止」状態となり、火災信号が入っても非常放送の音声警報は鳴動しません。
(非常放送連動停止灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、停止解除になります。
(非常放送連動停止灯 / スwitch注意灯……………消灯)

11 消火栓連動停止スイッチ / 消火栓連動停止灯(赤)

押すと発信機を押しても消火栓は連動しません。
(消火栓連動停止灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、停止解除になります。
(消火栓連動停止灯 / スwitch注意灯……………消灯)

12 防排煙連動停止スイッチ / 防排煙連動停止スイッチ灯(赤)

押すと感知器が動作しても接続された防火戸などは連動しません。
(防排煙連動停止スイッチ灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、停止解除になります。
(防排煙連動停止スイッチ灯 / スwitch注意灯……………消灯)

13 点検スイッチ / 点検スイッチ灯(赤)

受信機音響強制停止、地区音響強制停止、全回線空き回線登録解除を行うときに使用します。点検スイッチを1秒以上押ししたときに点滅(スイッチ有効状態)します。点検スイッチを1秒以上押しした場合は、点検スイッチを放した後も点検状態を継続します。
(10秒点滅継続)

14 電話ジャック

電話機のプラグを差し込み、発信機または副受信機との通話に使用します。

15 試験スイッチ / 試験スイッチ灯(赤)

一斉試験、火災試験、防排煙制御を行うときに使用します。押すと液晶表示部に試験メニューを表示し、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

16 戻るスイッチ

表示画面内容を1つ前の階層に戻すときに使用します。

17 電池試験スイッチ

押すと自動的に電池試験を行います。試験結果は液晶表示部に表示します。テスターなどで電圧を測定する場合は、受信機内部の電圧測定用の端子を利用します。

18 試験復旧スイッチ / 試験復旧スイッチ灯(赤)

押すと感知器の動作試験時に、受信機動作後約6秒後に感知器などを自動的に自動復旧させます。
(試験復旧スイッチ灯 / スwitch注意灯……………点滅)
(警戒中灯……………消灯)
もう一度押すと、試験復旧が解除されます。
(試験復旧スイッチ灯 / スwitch注意灯……………消灯)
(警戒中灯……………点灯)

19 OP(オプション)1・2・3・4・5スイッチ / OP(オプション)1・2・3・4・5スイッチ灯(赤)

押すと設定された動作をします。各代表移信接点を連動停止や接点出力などに設定が可能です。詳しくは、設定マニュアルを参照してください。
(OPスイッチ灯 / スwitch注意灯……………点滅)
もう一度押すと、元に戻ります。
(OPスイッチ灯 / スwitch注意灯……………消灯)